1. 科目名 数)	(単位	社会福祉入門 (2単位)		3. 科目番号	GELA1101 GELA1301	
2. 授業担	当教員	佐々木 隆志		3. 付日留 9		
4.授業形	態	講義、ディスカッション		5. 開講学期	秋期	
6. 履修条件・ 他科目との関係						
7. 講義概	要	近年急速に進展する少子高齢化など社会構造の変化に伴い、わが国はますます福祉重視型の社会をめざしている。本科目では、こうした社会の中で必要な社会福祉とは何か、また様々な福祉領域で必要な知識や実践方法にはどのようなものがあるのかなどについて、基本的な学びを深める。さらにこれまでの福祉理念の変遷を概観し、急速に変化していく現代社会にあって、これからの福祉のあり方についても考察する。入門編として充実した内容であるとともに、福祉に興味を持つことに重点を置くこととする。				
8. 学習目	標	1. 社会福祉とは何か、なぜ学ぶのかについて理解し、考察することができる。 2. 様々な領域の状況(問題や政策、制度、サービス等)について理解し、考察することができる。 3. 各自の国の状況も踏まえ、今後の課題やあり方について考察することができる				
(宿題)	9. アサイメント (宿題) 及びレポ アサイメントは講義の中で指示する。 ート課題					
10. 教科書 書・教		【教科書】東京福祉大学編『レポート・試験はこう書く 新・社会福祉要説』ミネルヴァ書房 【参考書】必要な参考書等は講義の中で指示する。また、必要に応じて、プリント等補助教材を配布する。				
11. 成績評 と評定		 ○成績評価の基準 1. 社会福祉とは何か、なぜ学ぶのかについて理解し、考察することができるか。 2. 様々な領域の状況(問題や政策、制度、サービス等)について理解し、考察することができるか。 3. 各自の国や地域の状況比較も踏まえ、今後の課題やあり方について考察することができるか。 ○評定の方法 1. 授業への積極的参加(提出物等含む) 30% 2. 課題レポート 30% 3. 期末試験 40% 				
	本科目では、学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を養成し、より実践的な技術、知識を得ることを目的としている。目的達成のため、受講生は以下の条件を守ること。 1. 授業中は、常に高い緊張感と、集中力を保って受講すること。学生には積極的な態度を望む。 2. 自ら進んで教員に質問すること。理解できないことをそのまま放っておかないこと。 3. 欠席、遅刻、早退をしないこと。欠席、遅刻、早退をした場合はその理由を必ず教員に書面をもって報告すること。 4. 明らかに授業態度が悪いと判断された際は、厳格な指導を行う。指導後も授業態度の改善が見られない場合、たとえ皆出席であっても下評価になるので注意すること。 5. 授業中、私語、居眠り、携帯電話等の操作は絶対にしないこと。教員は以下のことを実行する。 1. 授業の目的、目標を明確にし、授業の進行はシラバスに沿って行う。 2. 受講生全体に聞こえる大きさの声で話しをするとともに専門用語はわかりやすく説明する。 3. 一方通行の講義だけを行うのではなく、ディスカッションを行いながら、学生が積極的に授業に参加(発育、発表等)できるよう双方向対話型の学習環境を作る。 遅刻、早退、授業中の居眠り、私語、携帯電話の使用等、授業に臨むうえで不適切な態度が見受けられた場					
13. オフィスアワー		合は、厳格に対処する。 初回の講義において提示する				
14. 授業展開及び授業内容						
講義日程 授業内容 学習課題						
第1回 講義オリエンテーション:これからの講義の内容			学習	(福祉」について いて言語化できる	学ぶぼうと考えた動機 ようにする。	

14. 仅未依用及 01 仅未 17 日							
講義日程	授業内容	学習課題					
第1回	# 羊より マンニン ことり かき の出 芝の中央 し 佐仁	事前学習	「社会福祉」について学ぶぼうと考えた動機				
	講義オリエンテーション:これからの講義の内容と進行		について言語化できるようにする。				
	についての確認	事後学習	講義で学んだ事柄をノートにまとめる。				
	「社会福祉」とは?:「社会福祉」についてテキストを用いてレジュメを作成する	事前学習	テキストp.6を熟読し、不明な点を明らかに				
第2回			しておく。				
		事後学習	グループで作成したレジュメ内容を推敲す				
			る。				
	「社会福祉」とは?:レジュメの説明(発表) 「ノーマライゼーション」について:テキストの確認と	事前学習	発表用レジュメの確認とテキスト p.55 を熟				
第3回			読し、不明な点を明らかにしておく。				
	プリントの説明	事後学習	講義で学んだ事項をノートにまとめる。				
	社会保障の概要①:社会保障の意義について	事前学習	「社会保障」について自身が理解している事				
第4回			柄をまとめる。				
		事後学習	講義で学んだ事柄をノートにまとめる。				
	社会保障の概要②:社会保障に関するレジュメの作成	事前学習	テキスト p.85 を熟読し、不明な点を明らか				
第5回			にしておく。				
		事後学習	グループで社会保障に関するレジュメを完				
			成させる。				
第6回	社会保障の概要③:レジュメの発表と解説	事前学習	作成したレジュメの内容を確認する。				

#後学習 講義で学んだ事柄をノートにまとめる。 第7回 理解				
### 事後学習 講義で学んだ事柄をノートにまとめる。			事後学習	講義で学んだ事柄をノートにまとめる。
##	第7回	「社会福祉サービス」について:社会福祉施設・機関の	事前学習	テキスト
#8 回 関わる専門職について知るとともに社会福祉士の専門性について理解を深める 事後学習 講義で学んだ事柄をノートにまとめる。		理解	事後学習	講義で学んだ事柄をノートにまとめる。
## 第8回 関わる専門職について知るとともに社会福祉士の専門性について目身の意見をまとめる。 事後学習 講義で学んだ事柄をノートにまとめる。 事 第9回 社会福祉の専門技術について: 社会福祉士が行う相談接 助についてその概要を理解する 事前学習 講義で学んだ事柄をノートにまとめる。 事 第10回 実践者の話①: 卒業生等から実践活動に関する話を関 き、社会福祉実践に関する理解を深める 事前に示された講話者の専門領域について、その概要を調べておく。 事後学習 講話内容についてまとめる。 事前に示された講話者の専門領域について、その概要を調べておく。 事後学習 講話内容についてまとめる。 事前に示された講話者の専門領域について、その概要を調べておく。 事後学習 講話内容についてまとめる。 事前に示された講話者の専門領域について、その概要を調べておく。 事後学習 講話内容についてまとめる。 「社会福祉」に関する説明資料の作成:「福祉教育」に使用する教材を想定し、グループ毎に資料を作成する 事後学習 発表用資料の作成 「福祉教育」教材発表②: グループ毎に作成した教材を用いてプレゼンテーションを行う 事後学習 グループ発表の準備及び他グループの資料に目を通す。 「福祉教育」教材発表②: グループ毎に作成した教材を用いてプレゼンテーションを行う 事後学習 グループ発表の準備及び他グループの資料に目を通す。 第14回 「福祉教育」教材発表②: グループ毎に作成した教材を用いてプレゼンテーションを行う 事後学習 グループ発表に対する他グループからのフードバックを受ける。 事前学習 個人レポートの作成 第25回 まとめ 事前学習 個人レポートの作成 第25回 事後学習 世会福祉入門において理解が促進した事項		社会福祉の専門職(社会福祉士)について:社会福祉に	事前学習	テキスト p.13 を熟読し、社会福祉士の社会
### 第9回	第8回	関わる専門職について知るとともに社会福祉士の専門		的役割について自身の意見をまとめる。
# 1 1 回 社会福祉の専門技術について: 社会福祉士が行う相談接 助についてその概要を理解する 事後学習 講義で学んだ事柄をノートにまとめる。 事後学習 講義で学んだ事柄をノートにまとめる。 事前に示された講話者の専門領域について、その概要を調べておく。 事後学習 講話内容についてまとめる。 事的学習 き、社会福祉実践に関する理解を深める 事前学習 事前学習 事前学習 事前学習 事前学習 事前学習 事前学習 事前学習		性について理解を深める	事後学習	講義で学んだ事柄をノートにまとめる。
# 第9回 助についてその概要を理解する		社会短知の東明は後について、社会短知士が行る担 款極	車	テキスト p. 138 を熟読し、支援の方法につい
# 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第	第9回		尹則子白	てその体系を調べておく。
# 第10回 実践者の話①: 卒業生等から実践活動に関する話を関 き、社会福祉実践に関する理解を深める 事前学習 その概要を調べておく。			事後学習	講義で学んだ事柄をノートにまとめる。
# 1 0回 き、社会福祉実践に関する理解を深める 事後学習 講話内容についてまとめる。 事後学習 講話内容についてまとめる。 事前学習 事前に示された講話者の専門領域について、 その概要を調べておく。 事 第 1 2回			事杂兴网	事前に示された講話者の専門領域について、
事後学習 講話内容についてまとめる。 事前に示された講話者の専門領域について、	第10回		尹刖子白	その概要を調べておく。
第11回 実践者の話②: 卒業生等から実践活動に関する話を聞き、社会福祉実践に関する理解を深める 事前学習 その概要を調べておく。 第12回 「社会福祉」に関する説明資料の作成:「福祉教育」に使用する教材を想定し、グループ毎に資料を作成する 事前学習 これまでの学習内容、資料等をまとめ、教材作成に必要な情報を整理する。 第13回 「福祉教育」教材発表①: グループ毎に作成した教材を用いてプレゼンテーションを行う 事前学習 グループ発表に対する他グループの資料に目を通す。 第14回 「福祉教育」教材発表②: グループ毎に作成した教材を用いてプレゼンテーションを行う 事前学習 グループ発表に対する他グループからのフードバックを受ける。 第15回 まとめ 事前学習 グループ発表に対する他グループからのフードバックを受ける。 第15回 まとめ 本会福祉入門において理解が促進した事項			事後学習	講話内容についてまとめる。
# 第11回 き、社会福祉実践に関する理解を深める 事後学習 講話内容についてまとめる。			車	事前に示された講話者の専門領域について、
# 第 2 回	第11回		争刖子百	その概要を調べておく。
# 第12回			事後学習	講話内容についてまとめる。
# 第12回 用する教材を想定し、グループ毎に資料を作成する 事後学習 発表用資料の作成 事前学習 「福祉教育」教材発表①:グループ毎に作成した教材を 用いてプレゼンテーションを行う 事後学習 グループ発表の準備及び他グループからのフードバックを受ける。 事前学習 に目を通す。 事前学習 がループ発表の準備及び他グループからのフードバックを受ける。 事前学習 に目を通す。 事前学習 に目を通す。 事前学習 に目を通す。 事前学習 に目を通す。 事前学習 に目を通す。 まとめ 事前学習 がループ発表に対する他グループからのフードバックを受ける。 事前学習 個人レポートの作成 社会福祉入門において理解が促進した事項			事前学習	これまでの学習内容、資料等をまとめ、教材
第13回 「福祉教育」教材発表①:グループ毎に作成した教材を 用いてプレゼンテーションを行う 事後学習 グループ発表の準備及び他グループの資料に目を通す。 事後学習 グループ発表に対する他グループからのフードバックを受ける。 事前学習 グループ発表に対する他グループからのフードバックを受ける。 事前学習 グループ発表に対する他グループの資料に目を通す。 用いてプレゼンテーションを行う 事後学習 グループ発表に対する他グループの資料に目を通す。 事前学習 グループ発表に対する他グループからのフードバックを受ける。 事前学習 個人レポートの作成 第15回 まとめ 事前学習 他人レポートの作成	第12回			作成に必要な情報を整理する。
# 第13回 「福祉教育」教材発表①:グループ毎に作成した教材を 用いてプレゼンテーションを行う 事後学習 だ目を通す。 事後学習 グループ発表に対する他グループからのフードバックを受ける。			事後学習	発表用資料の作成
# 1 3回			事前学習	グループ発表の準備及び他グループの資料
#いてプレゼンテーションを行う	第19回			に目を通す。
# 第14回 「福祉教育」教材発表②:グループ毎に作成した教材を	毎13回		事後学習	グループ発表に対する他グループからのフ
第14回「福祉教育」教材発表②:グループ毎に作成した教材を 用いてプレゼンテーションを行う事前学習に目を通す。 グループ発表に対する他グループからのフードバックを受ける。 事前学習第15回まとめ事前学習個人レポートの作成本後学習本会福祉入門において理解が促進した事項				ードバックを受ける。
# 1 4 回		<u> </u>	事前学習	グループ発表の準備及び他グループの資料
#Nでプレゼンテーションを行う	笠14回			に目を通す。
第15回 まとめ 事前学習 個人レポートの作成 事務学習 社会福祉入門において理解が促進した事項	20141		事後学習	グループ発表に対する他グループからのフ
第15回 まとめ 社会福祉入門において理解が促進した事項				ードバックを受ける。
事後受習 二二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	第15回	まとめ	事前学習	個人レポートの作成
「 Eついてまとめ、言語化できるようにする。			事後学習	社会福祉入門において理解が促進した事項
				についてまとめ、言語化できるようにする。
期末試験				